

森の遺書

五輪、このままじゃ危ないよ

小池劇場こそ伏魔殿！ 森喜朗 × 田原総一郎

独占手記

我が「冤罪」169日勾留記

田母神俊雄

総力特集

半島危機の核心

トランプ 対中「取引外交」の危うさ 中西輝政
北の核ミサイル問題の震源地は北京 福山隆 × 織田邦男
水軍化した陸上自衛隊が日本を救う 兵頭二十八
核攻撃怖いのは電磁パルスのインフラ破壊だ 鬼塚隆志
北朝鮮カラ威張り・ハッターだけが生きる道 豊田隆雄

韓国
新大統領

文在寅

空想的
親北主義者

は短命で終る 呉善花

『八重山日報』本島に殴り込む！ 中田秀太郎

7

巨人の知
昇一渡部

保守の 神髄として

安倍晋三

追悼
30回目のお見合い結婚

渡部迪子



核の北 ミサイル問題の 震源地は北京

福山隆
元陸将

織田邦男
元空将

日本人は核を恐れているばかり。今こそ核と向き合い研究すべき時

北朝鮮はなぜ騒ぐ？

福山 なぜ、北朝鮮は核開発や武装をちらつかせるのか。

織田 五月十四日早朝、また弾道ミサイルを発射しましたね。高度二千キロ超で、約三十分、八百キロ飛行

したとか。着実に技術力をつけているのは間違いありません。

福山 核開発を実行したインドやパキスタンの場合、もう少し控えめだったのに。イスラエルは、完全に「隠密状態」です。

その理由の一つは、北朝鮮の体制が、我々が考えている以上に脆弱だ

からではないか。核ミサイル開発を、体制維持のためのツールとしても利用しているのではないか。

織田 北朝鮮は核武装を絶対にやめることはありません。やめると、先代の金正日キムジョンイルの遺訓をないがしろにしてしまうため、金正恩キムジョンウンの正統性まで問われかねない。

福山 アメリカは「体制を変えることまで望んでいない。核をやめさせるだけだ」と言っていますが、「核」と

「金王朝」は一体不離の関係です。

織田 中国から圧力が相当かかって

いるようですが、外部の圧力で核武装をやめるとなれば、独裁者としての威厳は保てません。

通常兵器で守れないからこそ、核に頼るのです。

福山 朝鮮半島を地政学的に見ると、常に大国のコマでしかなかった。そこから解放されるための最大の武器が核ミサイルだった。

織田 中国は韓国主導の朝鮮半島統一が悪夢だと思っているから、北朝鮮に対する影響力は保持しておきたい。また、朝鮮半島が無秩序になる事態は避けたい。そこに関しては、中国とアメリカの思惑は一致しているようです。

福山 つまり、金王朝は潰さない。

織田 一九七五年、ソ連はヨーロッパ

パ東部にSS-20（中型核）ミサイルを配備。このミサイルはヨーロッパ全土が射程圏内でしたが、アメリカには届かない。ヨーロッパ諸国は「アメリカの核の傘は本当に有効に機能するか」と疑問を持ち始めるようになった。NATO加盟国とアメリカの間でデカップリング（分離）という現象が起こったのです。

NATOはソ連にSS-20撤廃を要求すると共に、SS-20と同等の巡航ミサイルとパーシングIIを西ドイツやイギリスに配備した。

結果的には、これでソ連は交渉のテーブルにつき、一九八七年、INF（中距離核戦力）の全廃条約が米ソで調印、ミサイルは撤廃されたのです。軍縮のために軍拡して成功した例です。

福山 日本でも、このような事態が



五月十四日に行われた北朝鮮の新型弾道ミサイル発射実験（十五日付の朝鮮労働党機関紙・労働新聞電子版より／写真提供：時事）



おりた くにお

1952年、愛媛県生まれ。1974年、防衛大学校卒業、航空自衛隊入隊、F4戦闘機パイロットなどを経て83年、米国の空軍大学へ留学。90年、第301飛行隊長、92年米スタンフォード大学客員研究員、99年第6航空団司令などを経て、2005年空将、06年航空支援集団司令官(イラク派遣航空部指揮官)。09年に航空自衛隊退職。

織田 核実験が実行される可能性が
統一されても困るし、米中露、この
三国のどれが支配しても紛争の火種
になる。チェスでいえば「ステイルメ
イト」(手詰まり状態)なのです。

あると騒がれ、アメリカがカールビ
ンソンを中心とした第一空母打撃群
を朝鮮半島沖に派遣したと報道され
たとき、メディアは「すわ戦争か」と
大騒ぎしましたが、私は「今回は絶対
に戦争をしない」とSNSに書き込み
ました。

織田 もし戦争になれば、ソウルが
火の海になる可能性は非常に高い。
私がアメリカ軍の司令官の立場だつ
たら、まずはソウルの非戦闘員の退
避作戦(NEO)を最優先します。
ところが、まったく、そんな動きは
見られなかった。それを知ったとき、
「ああ、これはアメリカが攻撃するこ
とはないな」と。

織田 エドワード・ルトワック(米



ふくやま たかし

1947年、長崎県生まれ。70年、防衛大学校応用化学科卒業。外務省安全保障課出向、韓国防衛駐在官、第32普通科連隊長(地下鉄サリン事件時、除染隊派遣の指揮を執る)、陸幕調査第2課長(国外・技術情報)、情報本部初代画像部長(衛星情報)、第11師団(札幌)副師団長、富士教導団長、九州補給処長などを歴任し、2005年、西部方面總監部幕僚長・陸将で退官。著書に「現代軍事理論で読み解く「福狭間の戦い」(ワニブックス)、「防衛省と外務省」(幻冬舎)など多数。

いつ起こるとも限らない。だから、
今こそ核についてタブーなき議論を
進めるべきです。

織田 アメリカは北朝鮮の核搭載I
CBM(大陸間弾道ミサイル)が米
本土に届くことは絶対に許さない。
私が考える悪夢のシナリオとして、
米中は北朝鮮の核保有は認める。そ

の代わり、ミサイルの射程で制限す
るといふものです。つまり、アメリ
カ本土には届かないという条件で、
北朝鮮を核保有国として認めるとい
うシナリオです。

トランプは、そうした取引をして、
中朝と折り合いをつけるかもしれま
せん。そうなれば、核の傘の信頼度

が失われ、日米間でデカップリング
が起る可能性がある。
福山 地政学的に見て、朝鮮半島は
大陸国家と海洋国家の狭間でデー
ルされる地域として宿命づけられて
いる。決して主役になれず、脇役に
甘んじなければならぬ。主役は常
に米中露の大国です。朝鮮半島の人々
は、このような地政学的な立場にあ
ることを認めなければならぬ。
織田 北朝鮮は、もともと中国を信
じていません。「主体思想」という独
自の概念がありますが、それを実現
するために核が必要なわけですね。
福山さんは「米中は朝鮮半島で激突
する」(ビジネス社)で、北朝鮮を「手
詰まりの地」と表現されていますが、
実に言い得て妙です。
福山 あの地は二進も三進もいかな
い。南北どちらか主導で朝鮮半島が

国の歴史学者)が「核は非常に使いづ
らい兵器ではある。しかしながら、
核は使わない限り有効である」と述べて
います。これは「ルトワック・パラ
ドックス」とも言われています。

北朝鮮が本当に核武装をしている
かどうかは不明ですが、核による威
嚇、恫喝で心理的不安を世界中に増
殖させているわけです。

福山 核は、ディールの材料として
非常に効果的なんです。戦車を一
万両購入したり、板門店(朝鮮半島
中間部に位置する朝鮮戦争停戦のた
めの軍事境界線にある地区)の大
砲を倍に増やしたところで、大した
脅威にはならない。

核を持つているのか、撃ってくる
のか……まるでわからないという状
態の方が、非常に大きな力になる。

織田 韓国大統領選が五月九日に実

福山 なるほど!

織田 この二人は、共に「力」の信奉
者です。相手が強いときは控えめに
し、相手が弱いときは遠慮なく攻め
ていく。

中国自体は中華文明の中心地で、
周辺国を冊封体制(中国の皇帝が朝
貢をしてきた周辺諸国の君主に官
号・爵位などを与えて君臣関係を結
んで統治を認める一方、宗主国対藩
属国という従属的關係におくこと)
下に置く。その考え方が脈々と中国
で生きています。

福山 冊封体制復活のため、あらゆ
る手段を画策しているフシがありま
すよね。

織田 中国はアメリカに対して現在
の力関係では負けると、冷静に見極
めています。だから、まずは西太平
洋の支配から進めている。

施されて、文在寅が当選しました。
これによって、朝鮮半島情勢がどう
変わっていくのか。

福山 文新大統領は親北朝鮮派です。
親北朝鮮政権の誕生によって苦境に
陥っている北朝鮮は再び息を吹き返
すであろうという見方がありますが、
私はプラスマイナスゼロではないか
と思っています。初期の朴槿恵政権
のように中国べつたりだと、北朝鮮
はどう思うか。

織田 文政権は米国のTHAAD配
備を振り出しに戻させる交渉を始め
るかもしれません。

福山 北朝鮮からすると、庇護国が
韓国と仲睦まじくなれば、「ふざける
な、俺の旦那を取りやがって」となる。
実際に朴槿恵と中国の蜜月関係で、
金正恩は中国と不仲になった。そこ
で北朝鮮は、核を使って中韓を分断

福山 私は、中国による「核ドミノ戦
略」論を展開しています。

中国は北朝鮮の核武装を表向きは
反対を表明しながら、水面下では開
発に協力している。そして、北朝鮮
に引き続き韓国、ついで日本に核武
装を誘導するのです。それで何が起
こるのかといえは、日韓と日米の分
断です。

織田 確かに、中国は日本・韓国か
らアメリカ軍を一刻も早く追い出し
たいでしょう。

ただ、日本や韓国が核武装を実際
にした場合、中国にとって防衛的観
点からは非常にマイナスではないか
と思います。

福山 中国は朝鮮半島を自分たちの
支配地域だと。よしんば、朝鮮半島
で核を持ったとしても、最終的には
中国の意のままに取り潰せる、コン

する挙に出たのだと思う。
織田 文在寅が勝ったからといって、
北朝鮮はそれほど大喜びできないわ
けですね。

中国の核ドミノ戦略

福山 ところで、私は北朝鮮の核ミ
サイル問題の震源地は、限りなく北
京だと思っています。

織田 そうですね。スタンフォード
大学に留学していたとき、天安門事
件で亡命したロケット科学者が准教
授として働いていました。

私は彼に「中国はどういう国だ?」
と聞いたことがあります。

その答えは「二人のカーンを愛する
国だ。カール・フォン・クラウゼヴィツ
ツ(ドイツの軍事家。『戦争論』で有
名)とカール・マルクスだよ」と。

トロールできると考えています。

中国は核に対しては核というより
も、北朝鮮国内にシンパをつくり内
部崩壊させて支配する。南北を分断
させた状態の中で忠誠競争をさせな
がら、限りなく中国の支配権を強め
ていく。核を持たせながら、すべて
中国の手の内に収められると考えて
いるのではないのでしょうか。

織田 そこから、アメリカとのパト
ルに打ち勝とうとしているわけです
ね。

孫子の国

福山 中国の戦略は常に『孫子』の兵
法に則しているところがあります。

織田 習近平は『孫子』の兵法を学
べ」と訓示で述べていますよね。
福山 『孫子』の兵法に、「百戦百勝は

善の善なる者に非ざるなり。戦わずして人の兵を屈するは善の善なる者なり」(謀攻篇(第三))という一文があります。中国はまさに、この考えですべての戦略を立てていますよ。

中国は戦争をせずに、アメリカに西太平洋地域から撤退してもらおうことが一番いいわけです。

織田 二〇一二年、習近平は米中による「新型大国関係」という構想を唱え出しました。「中米が対抗すれば、両国と世界に災難をもたらす。太平洋には二つの大国を受け入れる十分な空間がある」というものですが、要するに、太平洋を米中で二分する考え方です。

オバマ政権下では最初は同意しそうになりましたが、途中からは中国の覇権主義を見抜き、まったく取り合おうとしなかった。

ところが、トランプ大統領の場合、逆のパターンも想定できます。つまり、習近平がトランプの足元を見て、餌をぶら下げ、太平洋分割論を呑ませる。

福山 それはあり得ますね。

織田 十五世紀のトルデシリヤス条約(二四九四年にスペインとポルトガルの間で結ばれた条約)と同じです。当時、権勢を誇ったスペインとポルトガルは、紛争を解決するため、ブラジルで線を引き、領土分割した。西はスペイン、東はポルトガルと。同じように、中国の大戦略の中には、この条約をイメージしているところがある。

福山 中国はちょっとした油断、隙を見せたら、そこを突いて攻め込んできます。無節操に、とにかくありとあらゆる手段を使ってくる。

片やトランプは、情報機関と仲が悪い。そうになると、一国の宰相として目・耳・鼻がない状態と一緒です。相手国にしたら非常に御しやすい。

織田 大人と子供のような差がありますよね。

福山 中国は国土の範囲を広げる「明々白々たる目標」があります。その中で二つキープポイントがある。一つが沖縄、もう一つが台湾です。

中国は尖閣諸島ではなく、沖縄そのものを狙っている。反日反米路線を沖縄に蔓延させ、独立させたいと。

織田 その証拠として、二〇一三年五月八日、『人民日報』には、「沖縄の帰属は未解決。もともと琉球は中国のものだった」という記事が出ています。

福山 中国政府の公式見解と同じようなものです。

織田 翌九日、即座に否定したのは

アメリカです。日本は官房長官が不快感を示したただけでした。それから二日後の『環球時報』で、「琉球国復活に向けた勢力を育成しよう」という記事が掲載。さらに四日後に、琉球民族独立総合研究学会が発足しました。なんと、この学会は日本の大学教授が中心です。

福山 まさしく中国の分断作戦ですよ。

織田 二〇一六年五月、琉球・沖縄最先端問題国際学術会議が北京で開催されました。本会議の理事は人民解放軍の元上將です。参加者の中には沖縄地元紙二紙『沖縄タイムス』と『琉球新報』がいた。

研究学会のHPには、「我々の目的は琉球独立だけではなく、軍事基地を琉球からすべて撤去させることだ」

と。

それから二カ月後、『環球時報』で「琉球を沖縄と呼ぶべきではない。主権の日本帰属は認めていない」と記事が出ました。

この一連の流れを見ると、あまりに日本人は中国の長期戦略に対して無防備すぎですよ。

その証拠に、五月七日には、尖閣諸島の接続水域に中国船が四隻、姿を現しました。中国得意の「クリーピング・エクスパンション」(creeping expansion=匍匐前進)作戦で、徐々に実効支配を奪おうとしている。

これは海だけでなく空も同じ状況です。昨年度のスクランブル回数は千六百八十八回と、これまでの最多を記録しました。その七〇%以上が中国軍機を対象としたものです。

福山 アメリカの国防長官、ジェー

ムズ・マティスが今年の二月に訪日したとき、「中国はかつての冊封体制を復活させようとしているが、国際社会に則った所作、ルールをわからせる必要がある」と発言しています。

マティスのように、正確な現状認識ができていない閣僚が少ないのではないかと。

織田 孫子の兵法の一つに「死間」という戦略があります。これは偽情報を流布させる。二〇一二年の『環球時報』に「琉球で住民投票が行われたところ、七五%が独立を要求し、中国との自主的往來の回復を要求した。残り二五%が日本への帰属を求め、独立を要求しなかったが、次々に賛成する」と掲載されましたが、まったくのデマ情報だった。

中国のしたたかな戦略に対して、もっとケアする必要がありますよ。

中国の覇権体制「パクス・シニカ（中国による東アジア地域の平和）」が実現されたら、日本は果たして生き残ることができるでしょうか。

ハゲタカ政権

福山 最近になって、トランプ大統領の発言がごろごろ変わり始めています。

織田 五月一日のインタビューでは、「これを言うに驚くかもしれないが、金正恩と会ってもいい」と述べている。四月上旬までは「斬首作戦だ」と言っていたのにもかかわらずです。

福山 私が思うに、トランプ大統領の外交の本質は「ハツタリ」ではないでしょうか。

最近、私の考えを裏付ける記事が『日本経済新聞』に掲載されました（五

ダツク（死に体）化するでしょう。

日米同盟は信頼に足るのか——一抹の不安がよぎります。

織田 マティスやハーバート・マクマスター（国家安全保障問題担当大統領補佐官）は、非常にリアリズムに徹していて、軍事・外交政策そのものは結構順調に見えます。しかし、トランプ自身の根本的な考え方はよくわかりません。

福山 記事には、「トランプ政権は日和見主義で理念がない」と述べられています。ハゲタカのだから、「この会社を一つの理想に向かって作り上げる」という考え方がなく場当たり的です。

「儲け」だけのための場当たりに走られると、同盟国にせよ、世界にせよ、軸がぶれて、不安定さを加速させる可能性があります。

月四日付）。ジリアン・テットという女性記者が『フィナンシャル・タイムズ』に書いた「ハゲタカ投資家の米政権」という記事を翻訳したものです。「これは我が意を得たり」という感じですが。彼女が言うには、国務長官のレックス・テイラーソンを除いて、ほかの閣僚たちは「ハゲタカビジネスタイプ」だ。

織田 「ハゲタカ」というのは、借金でクビが回らなくなった企業を買い叩き、利益を上げることですね。

福山 シリアへのミサイル攻撃のようには、最初にハツタリでドーンと高値を提示する。そこで相手が怯んで隙を見せたら、交渉を重ね、最終的には値引きしながら、妥協点、合意点を見つけ、一定の利益を得る。

トランプ政権は内政面では行き詰まっていた。そこで、習近平との晩

織田 一方で、中国はトップが誰になろうが、一貫した戦略をずっと守り続けている。これが恐ろしいですよ。

福山 方向性（包括目標とその戦略）も定まらないまま格好つけようとしているのが、今のアメリカではないでしょうか。トランプはビジネス的感覚を政治の世界に持ち込んでいるようだから、しばらくは迷走が続きそうです。

十四日の文韓国大統領誕生直後に合わせた弾道ミサイルの発射は、トランプのハツタリ外交を真似たものかもしれません。韓国との今後の交渉を有利にするために、ミサイル発射でハツタリをかませた。

九条は憲法違反

織田 トランプ政権の現状を認識し

宴会中に、シリアを空爆させ、中国や北朝鮮にハツタリをかましたわけです。

織田 トランプ大統領の目的は「パクス・アメリカーナ（アメリカによる世界平和）」の再構築であると評されることもありましたが、ところが現在のトランプ政権の状況を見ると、非常にちぐはぐな印象を受けます。

福山 オバマ政権も不甲斐なかつたですが、トランプ大統領の手腕によって安定的で平和な世界を構築できるか、といえば非常に疑問です。

まるで、ビジネスのように、いろいろなところをつまみ食いして、成果が上がらなければ、どんどん中途半端に放り投げていく可能性がある。

北朝鮮問題について、米国民が納得できるような幕引きができなければ、早々とトランプ政権は「レーム

で、日本は自分たちの立ち位置をどこに置くか、真剣に議論すべきときですが、二月の日米首脳会談の成功から思考停止状態に陥っている。

トランプ政権の顔ぶれは、反中ばかりだから大丈夫だと思っていたら、いつの間にか、トランプは習近平をほめ殺し、為替操作国認定についてもペンディング（中断）状態ですから、**福山** 日本の地政学は、たとえたと、アメリカという太平洋の向こうの巨大な山、中国・ロシアという巨大な山に挟まれた谷間に咲くひ弱な山桜だと思っています。

つまり日本は未来永劫、自立的にアメリカや中国に対抗できるステータスにはならない。防衛費を十倍に増やせばできるかもしれませんが。

織田 日本国民は自分たちの身のほどを弁えないといけませんよね。



福山隆
「米中は朝鮮半島で激突する」
(ビジネス社)

毅然とした態度を保ちつつ、努めて紛争を回避するマインドを持つことです。

織田 日本人に欠けているのは、リアリティの追求です。「弱さ」を自覚しなければいけない。

核もない、攻撃力もない、シーレーンは自国では守れない、軍事技術・情報収集はアメリカにすべておんぶにだっこ……これらの状況を見ると、当分はアメリカの下で「バクス・アメリカーナ」を支えることが、日本の正しい方向性でしょう。

福山 日本はアメリカをもっと巻き込むべきですよ。

織田 私は「活米の知恵」と言っています。アメリカから平和を与えられて、安穩としている時代は過ぎ去ってしまった。

日本独自の戦略を持って、アメリカ

力を巻き込んで活用することが必要ではないでしょうか。親米でも反米でもない、アメリカを活用する活米の知恵です。

福山 トランプは北朝鮮に対して「すべてのオプションはテーブルの上にある」と。

日本も次から次へと起こる変化、脅威が生まれてくるときに、それに對して、我々がどのように生き残っていくべきか……これらのオプションを持たなければいけません。

織田 その一つに、核の脅威から身を守るためにも、アメリカとの核のシェアという考え方があります。日本が自前で核武装しようと思えば、実験場もないし、保管場所も難しい。そうならば、今までのように核の傘に身をおいて、核の傘を活性化させるしかありません。

福山 日本は好むと、好まざるとにかかわらず、一国で独立して存在することはできません。米中露との関係を律することでしか生き残る道はない。

今は、アメリカとの紐帯を強くする選択肢がベストだと思います。ただし、中国との対立の芽だけは、少しでも小さくする必要があります。

福山 憲法九条の第一項と二項で手足を縛って、特殊事情を抱えて重装備はできない、交戦はできないと言っている。日本は時代遅れの旧制度の安全保障のフレームムしかないんですよ。五月三日の憲法記念日に、安倍首相は、三項を追加すると言いはじめましたよね。

織田 私が護憲派に言いたいのは「日本が戦争を放棄しても、戦争は日本を放棄しませんよ」ということです。国際情勢を直視することが必要です。アメリカ人は日本人を「オースト

リッチ(ダチョウ)・ファッション」だと。ダチョウは危機が迫ると穴に首を突っ込み見て見ないフリをして危機が去るのを待つ。

福山 仰るとおりです。**織田** 憲法の前文を読むと、国際協調主義を掲げていますが、それを妨げているのが九条です。

福山 仰るとおりです。**織田** 憲法の前文を読むと、国際協調主義を掲げていますが、それを妨げているのが九条です。

今、国際貢献は道路や水路を確保することにではなく、「人間の安全保障」がメインです。

ルワンダの虐殺のように、一方の

部族が何十万人という対立する部族を虐殺しようとするとき、これを止めさせるには、どうしても戦って守る状況が生まれざるを得ない。

最新刊

三島由紀夫かく語りき

篠原裕編著
決起からほどなく半世紀。三島氏は我らに何を遺していったのか？膨大精緻なる創作と言動の一端に、元楯の会一期生が肉迫する！
四六並製◎288頁◎1944円

最新刊

一九一一年ブリタニカが語った日本外交史

戸山嶺
ブリタニカが語った日本外交史。
ソ連成立前の1911年に出版されたブリタニカ百科事典第11版は、反日工作活動の影響をあまり受けていない英米の知識人が、日本をどのように捉えていたかを示す貴重な資料である。
四六並製◎268頁◎2160円

最新刊

キリスト教を世に問う!

奥山篤信
本書は、荒々しく旧来からの偽善と欺瞞を誤魔化すキリスト教の美辞麗句に感心して素直に従っている戦後の風潮を毆打する。
西村真悟推薦。
四六上製◎212頁◎1944円

最新刊

國の防人第一号

日本の名誉を守る会
平成の大演説会「魅れ!明治の精神」新保祐司、坪内隆彦。影山正治著「一つの戦史」を劇画化(作画:高岩ヨシヒロ)。ほか宮崎正弘、江崎道朗、松木國俊らの力作論考掲載。定期購読募集(年4回)。
A5並製◎132頁◎1080円

展転社

〒157-0061 東京都世田谷区北烏山4-20-10
電話03-5314-9470 Fax03-5314-9480
http://www.tendensha.co.jp/
[価格は税込]
お近くに書店がない場合は「ブックサービス」0120-29-9625へ